

# すぎなみ 教育報

No. 229

平成30年6月30日  
(年4回発行)



発行 杉並区教育委員会

## CONTENTS

- 特集 子どもの学びを支える大人たち… 2
- 特別支援教室を全ての区立中学校に… 5  
学校支援本部の扉⑦
- 早稲田大学との連携で外国語教育を充実… 6  
ようこそ学校図書館へ③
- 第6回 杉並区中学生小笠原自然体験交流… 7
- 第3回すぎなみ小・中学生未来サミット… 8
- ユネスコ教室2018サマーキャンプ  
夏休み子ども向け催し情報カレンダー2018

# 子どもの学びを 支える大人たち

子どもの学びをより深めるため、様々な大人たちが日々、子どもとかわりあい、きめ細やかな支援を行っています。





# 子どもの学びを支える大人たち

学校では、教科を教える教員や事務職員のほか、様々な専門性・経験を有するスタッフや地域の皆さんが活躍して子どもの学びを支えています。

本特集では、学校で活躍している大人たちを中心にその一部を紹介します。

教育委員会は、家庭・地域・学校が信頼関係を大切に、それぞれの役割に応じて力を発揮することにより、子どもの学びを共に支える教育を進めています。

※このほかにも、たくさんの大人たちが学びを支えています。

7月下旬に教育委員会 HP で紹介します。

すぎなみ教育報229

検索

## 家庭



## 学校

## 地域

**学習** … きめ細やかな学習のサポート

**生活** … 安全・安心な学校生活をサポート

**地域** … 地域の力でサポート



## ALT・JTE

学習

外国語の授業において、担任の先生や英語専科の先生のお手伝いをしています。小学1～4年生では、外国人の先生（ALT※1）との触れ合いを通して、異文化に触れたり、体験したりして、外国語に慣れ親しみます。小学5・6年生では、高い英語技能を持つ日本人の先生（JTE※2）等の指導により、慣れ親しんだ外国語から実際に使える外国語を目指していきます。

また、中学校では、ALTの指導により、実際の外国人とのコミュニケーションへとつなげていく経験をすることができます。



※1：ALT…Assistant Language Teacher (外国人指導助手)



※2：JTE…Japanese Teacher of English (日本人指導助手)

## 補助教員

学習

子ども一人ひとりに応じたサポートを行うために、先生の補助として授業に入り、より分かりやすい指導を行っています。質問したいことがあったり、分からない問題があったりしたときに、教室に先生が二人いるので、声をかけやすくなります。



学習

## 理科支援員

朝日向章子さんに聞きました

小学校の理科の授業でスムーズに観察や実験を行えるよう、薬品や実験器具を整理・準備したり、授業中に安全に楽しく学べるようにアドバイスをしています。私がサポートすることで、「どうなるんだろう?」「なぜこうなったのかな?」そんな声がたくさん聞こえてきたらうれしいです。



みんなの「今、知りたい!」を大切にしています。



## 特別支援教室巡回指導教員

学習

学習や集団生活につまずきを感じる子どものために、専門知識をもつ教員が各校の特別支援教室を訪問し、一人ひとりが学校生活で能力を発揮できるように指導を行っています。



## 通常学級支援員・通常学級介助員ボランティア

学習

通常の学級で支援が必要な子どもが安全に充実した学校生活を過ごせるようお手伝いをしています。



## 給食調理員・栄養教諭・学校栄養職員

生活

健康的な体づくりや元気に学校生活を過ごせるように栄養バランスのとれた給食の献立を考え、安全・安心でおいしい学校給食を作っています。また、食を通じて、生命や自然を大切にすることや正しい食生活を送ることができるようお手伝いをしています。



## 学校司書

学習

授業に必要な資料や楽しいと思ってもらえるような本を、みなさんに手渡すことが仕事です。本の紹介や貸出、読み聞かせなどをしたり、調べ学習のお手伝いをしています。



## スクールカウンセラー

生活

悩みごとや困っていることがある子どもや、保護者の相談を受けます。話をよく聞いて、一緒に考えるなど、心を安定させ、安心した学校生活を過ごすことができるようお手伝いをしています。



## 学校用務員

生活

子どもたちが安全・安心に学校生活を過ごせるように学校や周りの道路の掃除、草木の手入れのほか、学校の中で壊れた場所を直したりしています。



学習

## 学習支援教員

手塚佐智子さんに聞きました

通常の学級において学習面でつまずきを抱える子どもへ個別指導を行っています。学びは日々の積み重ねによって身に付いていきます。一人ひとりが抱えているつまずきを一緒に探しながら、子ども自身が答えを導き出せるようお手伝いをしています。



みんなからの「分かった」「できた」という言葉と表情を見るのがうれしいです。



## 通学安全指導員

生活



通学路の横断歩道などに立って、子どもたちが安全に登下校ができるように案内をします。また、正しい交通ルールを教えたり、集団下校時に付き添ったりするなど、毎日、子どもたちの安全・安心を守っています。

学習

## 部活動活性化事業専門コーチ

各競技のプロのコーチが顧問の先生に代わって技術指導をしています。できないことがだんだんとできるようになり、楽しく充実した部活動になっています。



地域

## 学校サポーター

地域の皆さんがボランティアで、授業や部活動、放課後、土曜日の取組など様々な学校活動のお手伝いをしています。



地域

## 学校運営協議会委員

下嶋光豊さんに聞きました



地域や保護者の代表など様々な委員が集まって、学校運営の大事な方針などについて、幅広い立場から話し合っています。議論をより深めるために、私は、学校をよく知る元校長としての経験を生かして、ほかの委員へ学校の制度を分かりやすく伝えています。また、地域や保護者などの声をよく聞いて、学校運営に反映させることを大切にしています。

子どもたちのために一緒にいい学校にしていきたいと思います。



## 学校支援本部員

地域

より充実した学校生活を送ることができるよう、授業に協力してくれる専門的なゲストティーチャーを紹介したり、放課後や土曜日の取組を考えたりして、子どもたちの豊かな学びを支えています。



# 特別支援教室を 全ての区立中学校に

苦手なこと、困っていることがあっても大丈夫



中学生になると学習内容も人間関係も複雑になり、特定の教科の不得意が目立つ、友だちとのトラブルが続く、教室で孤立しがちななどの課題が気になり始める子もいるでしょう。

知的な遅れがない場合、「本人の努力不足」「性格の問題」「常識がない」などとされがちですが、発達障害や認知特性の課題が背景にある可能性もあります。

一人ひとりが自分の特性を理解し学校生活で能力を発揮できるようにする場所が、「特別支援教室」です。

これまでは、専門知識をもつ教員の指導を受けるため、生徒は「通級指導学級設置校」へ通っていましたが、平成31年度には、地域の拠点校から複数の巡回指導教員が訪問する「特別支援教室」が全区立中学校に設置され、授業を受けることができます。

## 教室では | 困り感に応じた授業をします

授業は、週1回、1日1～2時間程度を基本としていますが、指導内容や方法、時間などを保護者や学校と相談して決定します。一人ひとりが抱える困り感を理解しながら、個別学習やグループ学習、個別相談を組み合わせています。

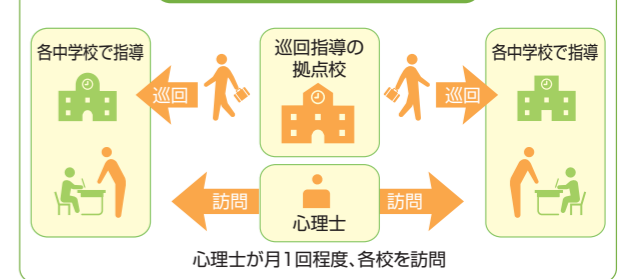
それぞれの特性に応じた授業を自分の学校の特別支援教室で受けることができるため、生徒たちはこれまで以上に安心して学ぶことができます。また、巡回指導教員と学級担任との連携が深まるため、一層の指導の充実が期待できます。

※区立小学校は平成30年度までに全校に特別支援教室を設置しました。

※詳細は教育委員会HPをご覧ください。

杉並区 特別支援教室 検索

### 「特別支援教室」の仕組み



問合せ：特別支援教育課 ☎03-3311-1921

## 連載1

### 学校支援本部の扉⑦ (最終回)

## 東原中学校学校支援本部

## 学校運営協議会の設置とともに 広がる支援本部の活動

東原中学校は平成28年10月に保護者や地域住民等からなる学校運営協議会が設置され、経験豊富な学校支援本部長が学校運営協議会会長に選ばれたことをきっかけに、学校支援本部長が交代するとともに、学校運営協議会・学校支援本部・学校が新しい協働体制になりました。今回は、本部役員の皆さんに支援活動の広がりについてお話を伺いました。

東原中学校では同窓会を基本とした体制で支援本部の活動が始まり、これまで生徒たちの教育環境の充実を第一に考え、校内の花壇の手入れや放課後学習などの支援活動を行ってきました。



新体制では、これまで築き上げられた活動を継承しつつ、さらなる充実を図っています。放課後学習支援活動では、これまでご協力いただいている地域の皆さんに加え、生徒と年齢が近く、溶け込みやすい学生ボランティアの活用を始め、生徒がより意欲的に学習に取り組める環境を作っています。また、学校運営協議会との連携については、支援本部を理解している元本

部長が学校運営協議会会長を務めていることから、より密接な連携を図りながら支援本部が活動することができています。

支援本部会議を定期的に関することで、学校のニーズの聞き取りや学校運営協議会で決められた方針の確認のほか、意見交換・提案を行い、それぞれとうまく連携した協働体制となっています。

東原中学校学校支援本部は、一人ひとりが当事者意識を持ち、学校運営協議会・学校と足並みをそろえて、今後も活動の充実に取り組んでいきます。



問合せ：学校支援課 学校支援係

## 学校と家庭・地域を結ぶ「心のかけはし」を

久保田 福美 教育委員



「學」という字の「メ」は、交わりや関わりを表しています。地域や家庭、教員が交わり・関わり・支え合い、子どもたちに手を差し伸べているのが、「學」です。

また、教育(きょういく)は、「協育」であり、「共育」とも言われます。子どもたちの健やかで豊か

な心と体を育んでいく上で、家庭・地域・学校が協働し、共に育てていくことが求められています。

戦後の新教育とともにスタートしたPTAは、発足以来70年を迎えました。PTA活動はもちろんのこと、保護者の皆様が日々子どもたちに向けてのまなざしや言葉かけと同じように、学級・学年・学校に対する温かな理解と協力こそが、教員を育て、子どもを育て、学校を育てていきます。

杉並が目指す「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」の実現に向けて、学校教育活動に対する保護者や地域の皆様のさらなるご理解・ご協力・ご支援をお願い申し上げます。



## 早稲田大学との連携で外国語教育を充実



5月9日、教育委員会と早稲田大学教育・総合科学学術院は、教育・研究活動を相互支援・協力するための協定を締結しました。外国語教育のさらなる充実を目指した連携を深め、将来的には、様々な教育活動においても連携を広げていく予定です。

### 教育委員会が目指す新学習指導要領に向けた外国語教育とは（※1）

● 2020年度に小学校で英語が必修となることに対応し、英語を受け身の「聞く」「読む」の技能に加え、自分の気持ちや考えを表現できるように「話す」「書く」を含めた四技能を総合的に育成していくことを目指しています。

● ALTやJTE（※2）などの専門人材を効果的に配置して学級担任との協働による授業を行い、各学年の発達段階を踏まえた充実した外国語教育を実施していきます。

※1 新学習指導要領で授業がどう変わるかについては、「すぎなみ教育報 No.227（平成29年12月14日発行）」の3ページでお伝えしています。

※2 ALT・JTEについては、2ページをご覧ください。

問合せ：済美教育センター ☎03-3311-0021

### 協定によって何ができるようになるの？

● 中学生海外留学事前学習会における、学生によるグループワークの補助など、これまでの取組の拡充を図ります。  
また、児童・生徒と年齢の近い学生が英語活動に関わることで、ALTやJTEとは異なる触れ合いの効果も期待できます。

● 大学教員の専門知識を生かした教員研修等の拡充を図るとともに、タブレット端末を活用した教員向けeラーニングを実施することにより教員の英語力を一層高め、児童・生徒の資質・能力の向上を図ることができます。



## 連載2

### ようこそ学校図書館へ



### その③ 高井戸中学校

このバラにちなんで、学校図書館には「アンネのバラ文庫」が設置しており、アンネに関する本を取り揃えています。生徒全員が3年間のうちに必ず『アンネの日記』を始めとするこの文庫の本を読み、平和について考えることを目標にしています。この文庫を入口の目立つ場所へ設置して改装したことで、先生などから非売品や絶版になった貴重な資料が寄贈されて展示されたり、生徒も関心をもって本を手取るようになりました。



高井戸中学校は、40年以上前に「文集アンネ・フランクへの手紙」を送ったことがきっかけで、アンネの父オットー氏からバラの苗木が贈られました。アンネのバラは、平和の象徴として正門前に植えられ、今でも大切に育てられています。



アンネのバラ文庫

生徒たちはアンネについてより深く知りたいたと、「戦争と平和コーナー」に集めた資料類にも興味を広げるなど、多くの本を利用するようになりました。

学校司書の星野さんは、今後もこうした読書活動を支援し、「アンネのバラがもつ意味を知り、平和への思いを発信していく人になってほしい」と語っています。

問合せ：済美教育センター ☎03-3311-0021

## 第6回 杉並区中学生小笠原自然体験交流

3/22~27  
実施

29名が参加



第6回杉並区中学生小笠原自然体験交流事業は、世界的視野で持続可能な社会を考えられる資質・能力を育むことを目的としています。学校や地域において、環境保全活動の推進役として活動するための貴重な体験をしてきた生徒の声をお届けします。

杉並区  
次世代育成基金  
活用事業

### 参加した生徒の声



ビニール等の海のゴミを、ウミガメが餌と間違えて食べてしまい、消化できずに死んでしまう例がある。ゴミは海の生態系にも大きな影響を与えていることを、多くの人に伝えたい。

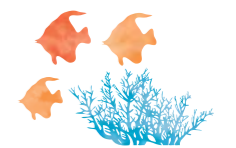


毎朝のビーチクリーニングでたくさんのゴミを見つけて驚いた。でも、島の人たちが見つけたゴミをさりげなく拾っている姿を見て普段からの心がけが大切だということが分かった。



島の自然を一生懸命守ろうとする父島の人たちの姿は、輝いて見えました。自然を壊すのは一瞬、でも壊したものを元に戻すのはとても難しく、人間と自然が共生できるように行動しなくてはいけないことを今回の体験で感じました。

次世代育成基金に寄付していただきありがとうございました。皆さんのおかげで、自然と触れ合う初めての体験がたくさんできました。小笠原で得た学びを様々な場面で発信していきたいです。



薪や木炭の原料とするために持ち込まれた外来植物は、生命力が強く成長もはやいので、固有植物に代わって生育地を拡大しています。これ以上外来種を持ち込まない努力が必要だと思いました。



### 成果報告会のお知らせ

参加した生徒が学んだこと、自然環境を守るためにこれから取り組むべきことなどを報告・発表します。生徒たちの生の声を聞きに、ぜひ会場へお越しください。

【日時】7月14日(土) 午後2時30分 【場所】泉南中学校 多目的室(堀ノ内1-3-1)

※午後4時15分から第7期派遣の事業説明会を行いますので、応募を検討している生徒、保護者の方はぜひお越しください。  
※7期生の応募期間は、7月2日から9月28日までの予定です。

問合せ：済美教育センター ☎03-3311-0021



## 第3回すぎなみ小・中学生未来サミットを開催します ～「明日も行きたくなる学校」を思い描きましょう～

日時：7月28日（土）午前9時40分～12時35分  
会場：セシオン杉並 ホール・展示室

全区立小・中学校の代表児童・生徒が一堂に会して学校生活をよりよくするために、いじめ問題を含めた身の回りの課題について、連携している小・中学校の取組を発表します。当日は、「明日も行きたくなる学校～人間関係をよくするために～」をテーマに、参加者全員で有意義な議論を行い、それぞれの考えを深める場にしたいと考えていますので、皆さんの参加をお待ちしています。



パネルディスカッションでは、子どもが「こんな大人に相談したい」と思う素敵な萩上千基さん（NPO法人ストップいじめ！ナビ代表理事）をファシリテーターにお迎えします！

問合せ：済美教育センター ☎03-3311-0021

## ユネスコ教室2018 サマーキャンプ

世界にふれる夏

8/2  
▼  
8/9

ユネスコ教室は、日本の中学生と外国人とが、お互いの文化を受け入れ、尊重しながら理解を深められるように、杉並ユネスコ協会青年部の大学生・高校生がリーダーとなって行う、宿泊学習を中心にした楽しいプログラムです。（杉並ユネスコ協会と教育委員会の共催事業）

第57回目となる今年度のユネスコ教室は、現在参加者募集中（7月14日締切・参加費20,000円）です。今後、東京オリンピック・パラリンピックの開催時には世界中から多くの方々が見学に来られ、グローバルな社会、多様な文化に触れる機会が多くなります。この夏、ユネスコ教室で世界に触れてみませんか。

※申込方法など詳細は区HPをご覧ください。

杉並区 ユネスコ教室2018

問合せ：社会教育センター ☎03-3317-6621

## 「夏休み子ども向け催し情報カレンダー2018」

区立図書館・郷土博物館・社会教育センター・スポーツ施設等で実施する催しやプールの無料開放など、夏休み期間中に行われる子ども向けの催し情報を一覧にしたカレンダーです。

開催日順に「聞く👂」「見る👁️」「作る🔪」「動かす👉」「実験する👉」のマークでの表示や、特集記事などで、参加できる催し情報をわかりやすく掲載しています。自由研究の課題探しにもぜひ活用してください！

【配布方法】7月中旬に区立小学校の全児童へ配布します。また、児童館、図書館、区民事務所等でも配布します。

問合せ：生涯学習推進課 管理係

教員の働き方改革の一環として次の取組を実施しますので、ご理解ご協力をお願いします。

- ◎全区立学校において、8月13日（月）から15日（水）までの3日間、「学校閉庁日」（教員が勤務しない日）を実施します。
- ◎7月1日（日）から、午後6時30分から翌朝午前7時30分までの間、全区立学校の電話に留守番機能を設定します。業務時間外の音声の流れ、メッセージの録音はお受けできません。

教育委員会から  
のお知らせ

広 告

杉並区スポーツ少年団  
中学女子軟式野球チーム  
杉並ホワイトキャッツ  
一緒に野球やろうよ！  
選手募集しています  
初心者だって大歓迎♪  
体験にぜひ来てね！  
お気軽にお問い合わせください  
Mail:suginamiwhitecats@gmail.com  
URL:http://whitecats.89dream.jp/

White Cats



イオンサプライ

ポカリスエット